

博物館
だより

ミニミニマインズ



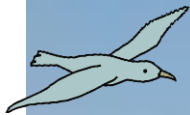
第 194 号

2011.6

ジュニアサイエンススクールのお知らせ

火山博士になろう！

★★★ 火山噴火で地上に運ばれてきたものを見つけよう ★★★



標本のサンプルを
たくさん集めよう！

輝石・火山ガラス
かんらん石・・・

毎年好評を頂いておりますジュニアサイエンススクールを今年も開催します。夏休みのひととき、めったにない貴重な体験を試してみませんか。大地の不思議さ・楽しさを体感しましょう。

先着順に参加決定しますのでお早めに申し込み下さい。ご参加お待ちしております。

日 時 7月30日(土)・31日(日)

※8時30分まで鉱業博物館に集合

内 容 1日目 地形・地質観察と標本採集

(バスでフィールドへ移動・日帰り)

2日目 標本整理と学習会(鉱業博物館3階講堂)

対 象 小学校6年生

募集人数 20名

申込方法 7月6日(水)～8日(金)

10時30分～16時まで 電話受付

申 込 先 鉱業博物館事務室(018-889-2461)

費 用 無料(昼食各自持参)

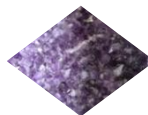
講 師 山元 正継(秋田大学鉱業博物館主事)

西川 治(秋田大学鉱業博物館専任講師)

そ の 他 参加決定者には後日詳細をお知らせいたします。



標本の紹介



アメシストの晶洞

★ブラジル産 ★全長150cm

★2月の誕生石 ★日本名:紫水晶

リニューアル後新しく展示が予定されているアメシスト(紫水晶)の晶洞です。母岩である火山岩の空洞一面にアメシストの結晶が成長しています。原石を割ってみるまでは晶洞の内側を見ることはできませんが、晶洞を切断し切断部を研磨、内部を洗浄すると美しい紫色の輝きが現れます。

通常は最後に母岩と同じ緑色の塗料を塗って仕上げますが、この標本は塗料を塗っていないため、母岩の特徴がよく分かります。

非常に美しい紫色のきらびやかな光を放ちながら、来館者の皆さんを迎えてくれることでしょう。



貴重な文献を寄贈していただきました

このたび仙台にお住まいの吉城 文雄さん(84歳)から鉱業関係図書・絵巻物・鉱山で働いていた外国人技師の写真等500点あまりの貴重な文献を寄贈していただきました。

吉城さんは長年、鉱山の歴史や技術、関わった人たちの生活等について研究されています。鉱山の町尾去沢出身で秋田大学学芸学部卒業というご縁があり、鉱業博物館への寄贈を申し出て下さいました。鉱物と併せてこれらの文献資料も保管・管理し、教育や研究に活用してもらいたい、鉱山への理解を深めるために役立ててほしいと語っておられました。

リニューアル後に「秋田の鉱山史」のコーナーに代表的なものを展示して皆さんに紹介していきます。

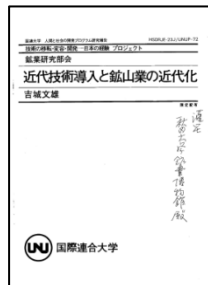
(後日、河北新報に関連記事が掲載される予定です。)



吉城さん(右)から資料の説明を受ける千田学芸員



たくさんの鉱山関係図書で埋め尽くされた吉城さんの書斎



吉城さん執筆の報告書や解説書

改修工事が始まりました

10月1日のリニューアルオープンに向けて、工事が始まりました。サイエンスボランティアの方たちや博物館実習生にも協力していただいて順調に進んでいます。館内や作業の様子を一部お知らせします。



地中熱を利用した館内冷暖房の実験のための配管工事



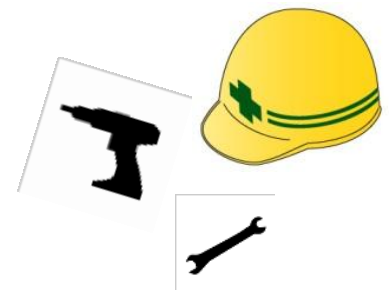
博物館の敷地を掘下げ



→ 地中にパイプを埋込み



→ 館内にパイプを通します



展示物の修繕や記録、移動の作業など

